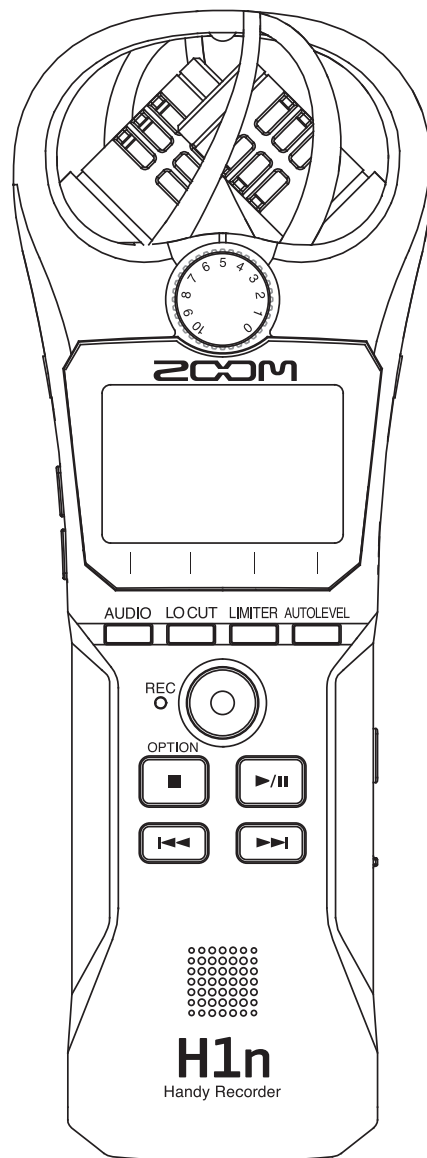


ZOOM®

Handy Recorder

H1n



オペレーションマニュアル

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください

© 2018 ZOOM CORPORATION



本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

安全上の注意／使用上の注意

このオペレーションマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次のとおりです。

 「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。	 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
--	--

図記号の例

 「実行しなければならない（強制）内容」です。	 「してはいけない（禁止）内容」です。
---	--

警告

■ 乾電池による駆動

- ❗ 市販の単四乾電池（アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池）× 2 を使用する。
- ❗ 乾電池の注意表示をよく見て使用する。
- ❗ 使用するときには、必ず電池／SD カードカバーを閉める。

■ 改造について

- ⊘ ケースの開封や改造をしない。

注意

■ 製品の取り扱いについて

- ❗ 落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えない。
- ❗ 異物や液体を入れないように注意する。

■ 乾電池の取り扱いについて

- ❗ 電池の＋、－極を正しく装着する。
- ❗ 指定の電池を使う。
新しい電池と古い電池、銘柄や種類の違う電池を同時に使用しない。
- ❗ 長期間使用しないときは、乾電池を取り外す。
液漏れが発生したときは、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取る。

■ 使用環境について

- ⊘ 温度が極端に高いところや低いところでは使わない。
- ⊘ 暖房機やコンロなど熱源の近くでは使わない。
- ⊘ 湿度が極端に高いところや水滴のかかるところでは使わない。
- ⊘ 振動の多いところでは使わない。
- ⊘ 砂やほこりの多いところでは使わない。

■ 音量について

- ⊘ 大音量で長時間使用しない。

■ 他の電気機器への影響について

H1n は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出る場合があります。そのような場合は、H1n と影響する機器とを十分に距離を置いて設置してください。デジタル制御の電子機器では、H1n も含めて、電波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。注意してください。

■ お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。

クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

■ 故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐに AC アダプターを抜いて電源を切り、他の接続ケーブル類もはずしてください。「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまで連絡してください。

■ 著作権について

© Windows®は、Microsoft®社の商標または登録商標です。

© Mac OS は、Apple Inc. の商標または登録商標です。

© iOS は、米国 Cisco の商標または登録商標です。


© microSD ロゴ、microSDHC ロゴは商標です。

©文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

*文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

他の者が著作権を保有する CD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。

著作権法違反に対する処置に関して、(株)ズームは一切の責任を負いません。

 この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

はじめに

このたびは、ZOOM ハンディレコーダー **H1n**（以下“**H1n**”と呼びます）をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

H1nは、次のような特長を備えた製品です。

90° XY マイク

90° XY マイクで狙った音を立体的にとらえます。

最大音圧 120 dB SPL のステレオペアマッチされたマイクでバンドリハーサルやライブハウスでも歪みなくクリアに録音できます。

シンプルな UI

入力レベルはノブを回すだけで調節でき、録音設定の変更も複雑な操作は必要ありません。

一度覚えれば迷わないシンプルな UI でセッティングのストレスを感じさせません。

視認性に優れた LCD、表示の日本語化

フルドット LCD の採用により、状況に応じた UI に変化します。

またフルドット LCD の表現力を生かし、パラメータ名やメッセージなどの情報を日本語で表示します。

アシンクロナス転送の USB オーディオインターフェース

パソコンのジッタに影響されないアシンクロナス（非同期）転送システムを採用し、システム全体で原音を忠実に再現します。

上位機種ゆずりの録音補助機能

入力レベルを監視して自動で録音が始まるオート録音や取り逃しを防ぐプリ録音、外部機器との同期に便利なサウンドマーカを搭載。

また、**H1n**ではセルフ録音時に便利なセルフタイマーを新たに搭載しています。

オーバーダビング機能

録音結果をもとに新たに音を重ねて録音できます。

元のファイルを変更せずに新たにファイルを作成する非破壊方式なので、失敗を気にせずオーバーダビングすることができます。

進化した再生機能

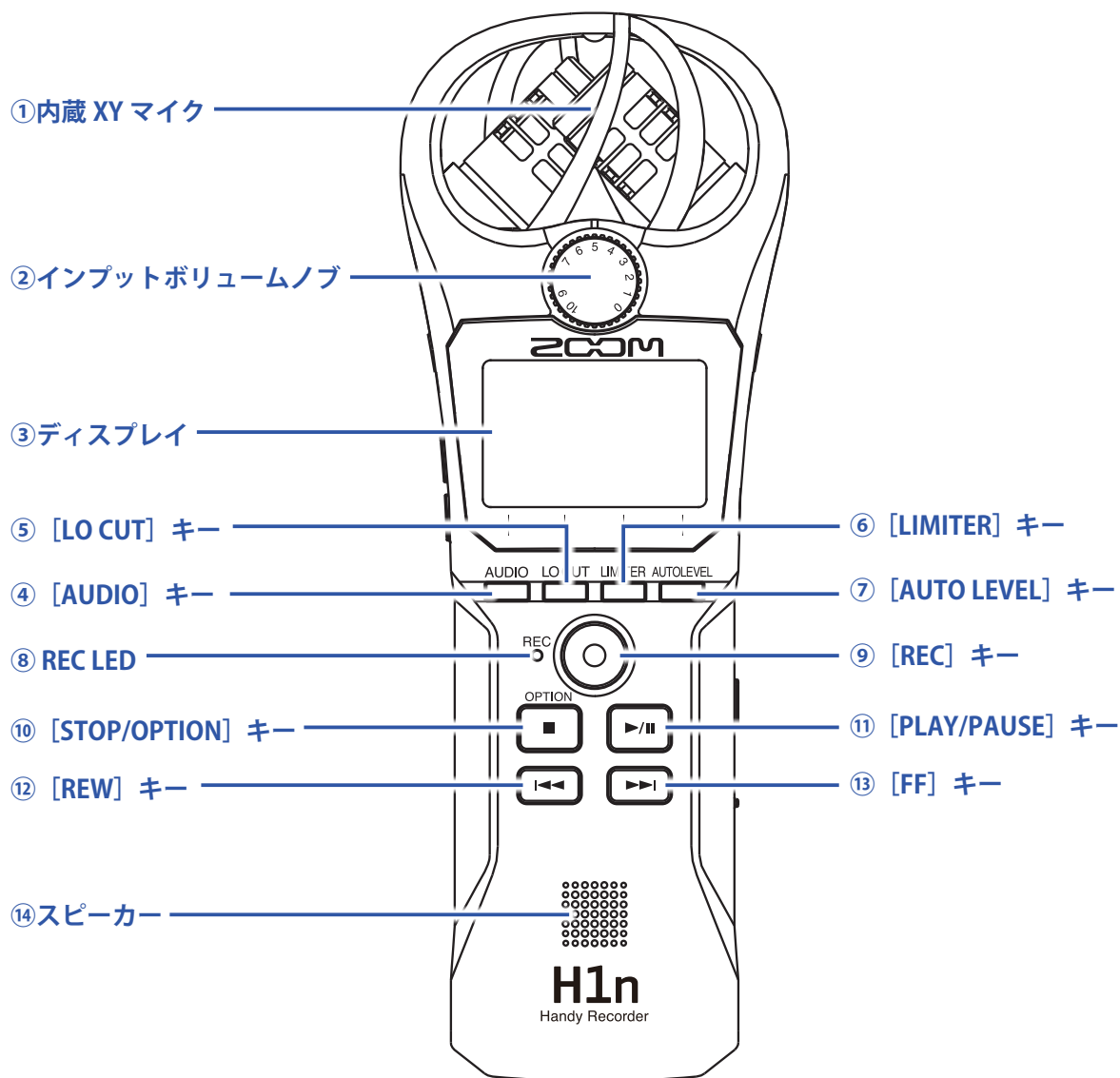
速度調整や A-B リピート、再生位置のスキップなど、文字起こしや学習、音楽の耳コピに便利な機能を搭載。録音後にも使えるレコーダーに進化しました。

目次

安全上の注意／使用上の注意	1	ディスプレイのバックライトを設定する	50
はじめに	3	ディスプレイのコントラストを調節する	51
各部の名称	5	使用する電池の種類を設定する	52
ディスプレイ表示	8	電源の自動 OFF 機能を設定する	53
準備	10	カウンターの表示方法を設定する	54
電源をセットする	10	ファイル名の付け方を設定する	55
microSD カードをセットする	12	その他の機能	56
電源を ON/OFF する	13	microSD カードを初期化する	56
表示言語を設定する	14	microSD カードの性能をテストする	58
日時を設定する	15	バージョンを確認する	62
誤操作を防止する	17	設定を初期値に戻す	63
録音	18	ファームウェアをアップデートする	64
入力レベルを調節する	18	言語を追加する	66
録音フォーマットを選択する	20	故障かな？と思われる前に	68
ノイズを軽減する	21	仕様	69
リミッターを設定する	22		
録音する	23		
録音の補助機能を使用する	24		
外部機器とのレベル調節をする (テストトーンを再生する)	28		
オーバーダビングする	29		
録音状況をモニターする	30		
外部マイクを使用する	31		
再生	32		
再生する	32		
音量を調節する	33		
リピート再生する	34		
マークを削除する	35		
ファイルの情報を確認する	36		
再生の補助機能を使用する	37		
ファイルの操作	42		
ファイルを削除する	42		
USB を使う	43		
外部機器と接続する	43		
カードリーダーとして使用する	44		
オーディオインターフェースとして使用する	45		
各種設定	48		
システム設定画面を表示する	48		
日付の形式を設定する	49		

各部の名称

■前面



①内蔵 XY マイク

指向性マイクを交差させて配置したマイクです。自然な奥行きと広がりをもった立体的なサウンドで録音できます。

②インプットボリュームノブ

入力レベルを調節します。

③ディスプレイ

各種情報が表示されます。

④ [AUDIO] キー

ディスプレイ下部に表示されている左から 1 番目の機能ボタンを操作します。

⑤ [LO CUT] キー

ディスプレイ下部に表示されている左から 2 番目の機能ボタンを操作します。

⑥ [LIMITER] キー

ディスプレイ下部に表示されている左から 3 番目の機能ボタンを操作します。

⑦ **[AUTO LEVEL] キー**

ディスプレイ下部に表示されている左から 4 番目の機能ボタンを操作します。

⑧ **REC LED**

録音中に点灯します。入力された音声が高い場合に高速点滅します。

⑨ **[REC] キー**

録音を開始します。

⑩ **[STOP/OPTION] キー**

ファイルの再生を終了したり、各種補助機能を表示します。

⑪ **[PLAY/PAUSE] キー**

録音したファイルを再生したり、録音を一時停止したりします。

⑫ **[REW] キー**

ファイルの再生位置を巻き戻したり、ファイルを選択します。

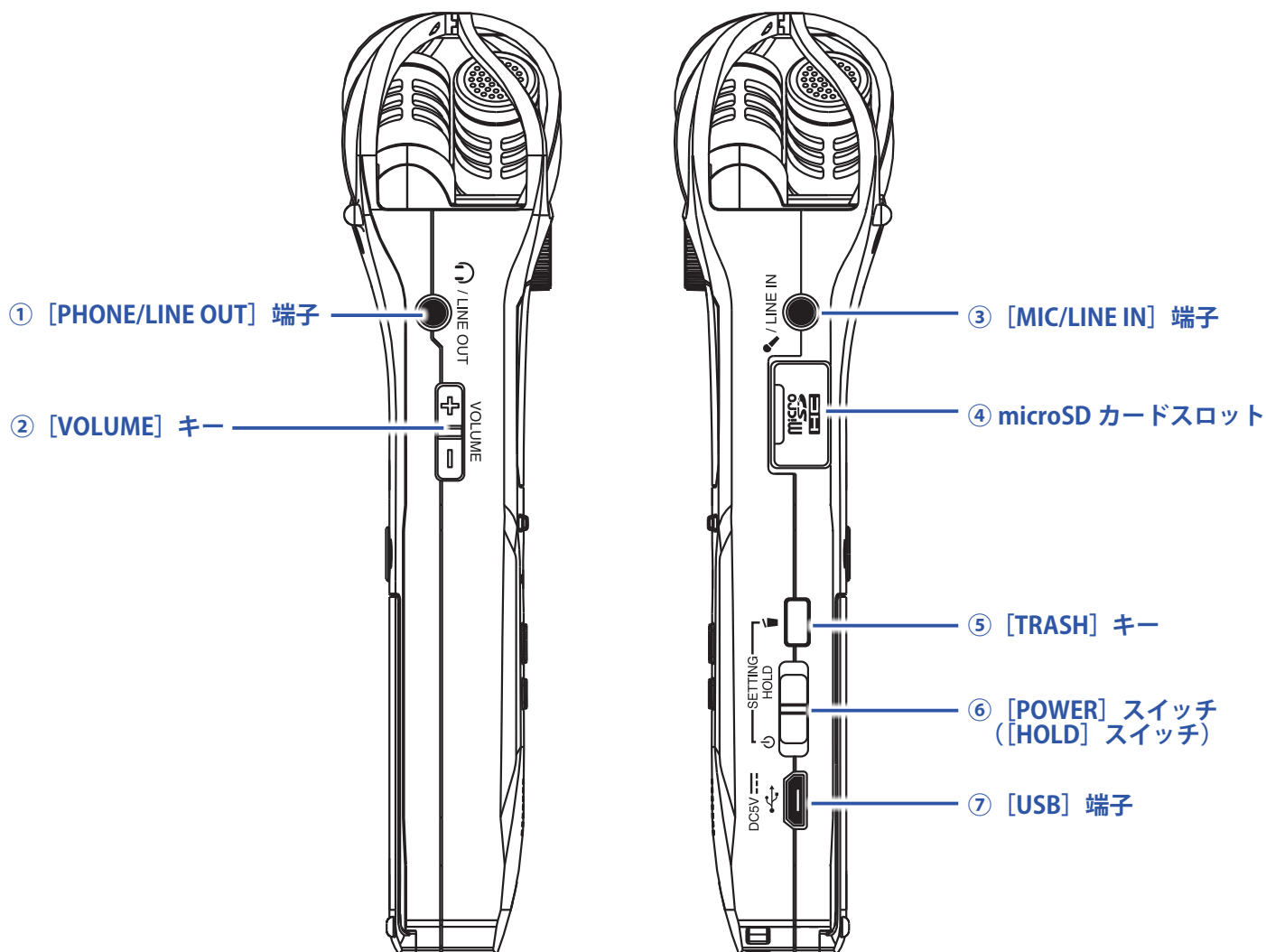
⑬ **[FF] キー**

ファイルの再生位置を早送りしたり、ファイルを選択します。

⑭ **スピーカー**

ファイルを再生すると、ここから音声が出力されます。

■左側面／右側面



① [PHONE/LINE OUT] 端子

ヘッドフォンや外部機器に音声を出力できます。

② [VOLUME] キー

音量を調節します。

③ [MIC/LINE IN] 端子

外部マイクを使用して録音できます。プラグインパワー方式のマイクを使用することもできます。

④ microSD カードスロット

microSD カードをセットします。

⑤ [TRASH] キー

録音したファイルを削除します。

⑥ [POWER] スイッチ ([HOLD] スイッチ)

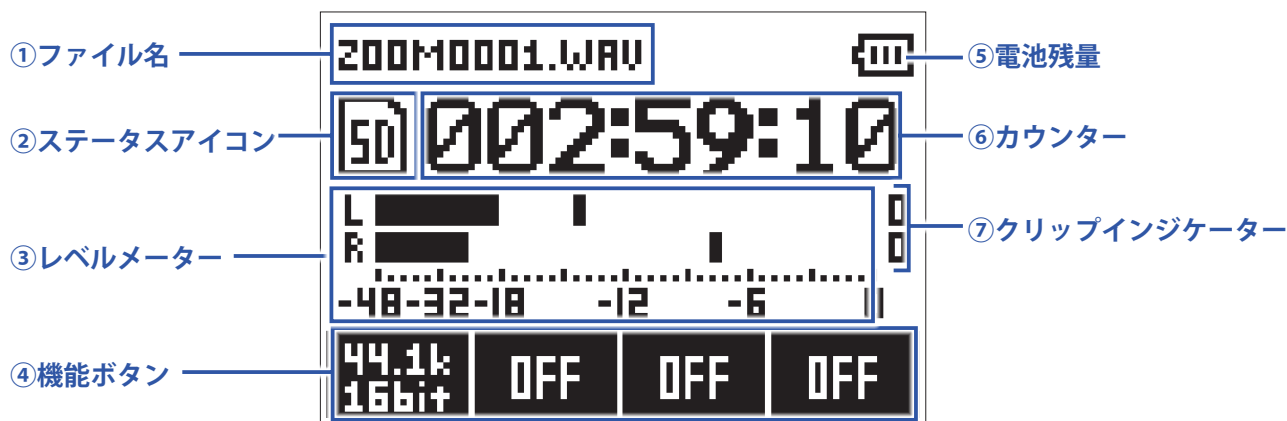
電源を ON/OFF したり、キー操作を無効にしたりします。

⑦ [USB] 端子

パソコンや iOS デバイスと接続して、H1n をオーディオ I/F やカードリーダーとして使用します。

ディスプレイ表示

録音画面



①ファイル名

録音中のファイル名が表示されます。

②ステータスアイコン

録音状況がアイコンで表示されます。

☐: 待機中 ●: 録音中 ||: 録音一時停止中 ●: オーバーダビング中 (→ [「オーバーダビングする」](#))

③レベルメーター

現在の入力レベルが表示されます。

④機能ボタン

録音画面で設定できる機能が表示されます。それぞれ左から AUDIO、 LOCUT、 LIMITER、 AUTOLEVEL に対応しています。設定を変更するには、パラメータの拡大表示中に再度同じキーを押してください。

⑤電池残量

電池残量が表示されます。電池の残量が少なくなった場合は、電池を交換するか (→ [「電池を使用する」](#))、ACアダプターを接続してください (→ [「ACアダプターを使用する」](#))。

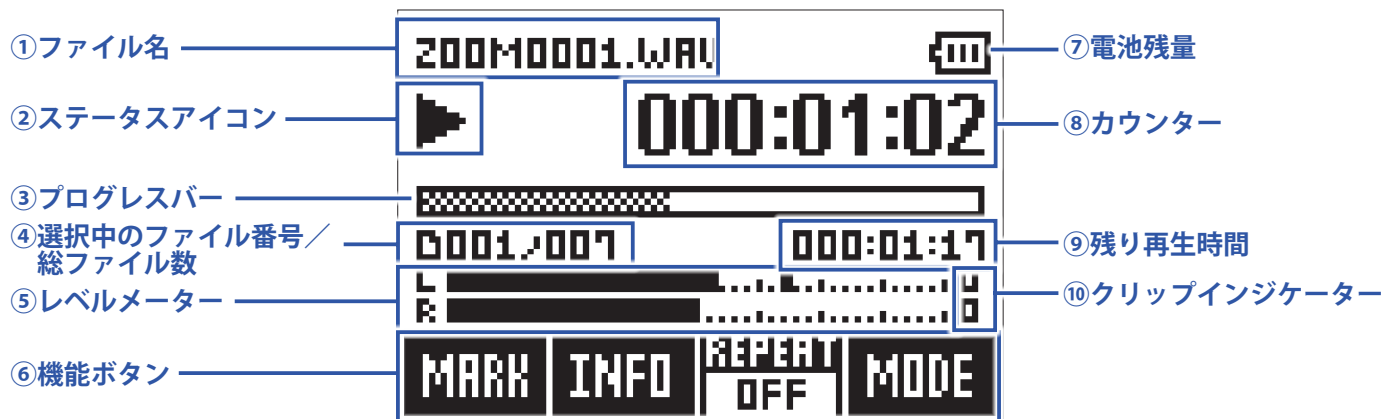
⑥カウンター

現在の録音経過時間または残りの録音可能時間が表示されます (→ [「カウンターの表示方法を設定する」](#))。

⑦クリップインジケータ

大きな音が入力されると点灯します。クリップインジケータが点灯する場合は、入力レベルを調節するか (→ [「入力レベルを調節する」](#))、リミッターを設定してください (→ [「リミッターを設定する」](#))。

再生画面



①ファイル名

再生中のファイル名が表示されます。

②ステータスアイコン

再生状況がアイコンで表示されます。

▶:再生中 ||:再生一時停止中 ◀:巻き戻し中 ▶▶:早送り中 ◀◀:前のファイル／マークにジャンプ中 ▶▶▶:次のファイル／マークにジャンプ中

③プログレスバー

現在の再生位置が表示されます。

④選択中のファイル番号／総ファイル数

⑤レベルメーター

再生中の音声の入力レベルが表示されます。

⑥機能ボタン

再生画面で設定できる機能が表示されます。それぞれ左から AUDIO、 LO CUT、 LIMITER、 AUTOLEVEL に対応しています。設定を変更するには、パラメータの拡大表示中に再度同じキーを押してください。

⑦電池残量

電池残量が表示されます。電池の残量が少なくなった場合は、電池を交換するか (→「[電池を使用する](#)」)、ACアダプターを接続してください (→「[ACアダプターを使用する](#)」)。

⑧カウンター

ファイル先頭からの再生時間が表示されます。

⑨残り再生時間

再生中のファイルの残り再生時間が表示されます。

⑩クリップインジケータ

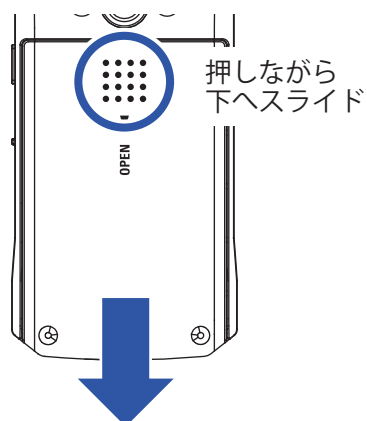
出力レベルが大きい場合に点灯します。

準備

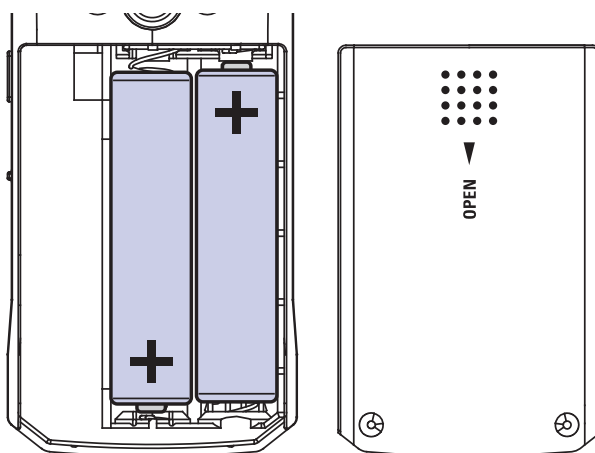
電源をセットする

電池を使用する

1. 電源を OFF にしてから、電池カバーを開ける



2. 電池を取り付ける



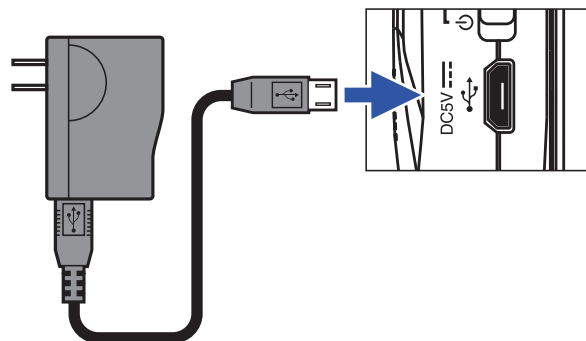
3. 電池カバーを閉じる

NOTE

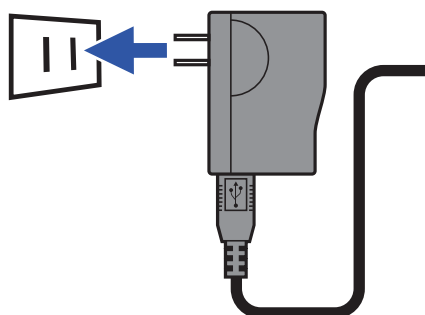
- アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池のいずれかを使ってください。
- 電池残量の表示が 0 になったときは、すぐに電源を OFF にし、新しい電池と交換してください。
- 電池を取り付けた後は、電池の種類を正しく設定してください (→「[使用する電池の種類を設定する](#)」)。

AC アダプターを使用する

1. [USB] 端子に AC アダプター (AD-17) のケーブルを接続する

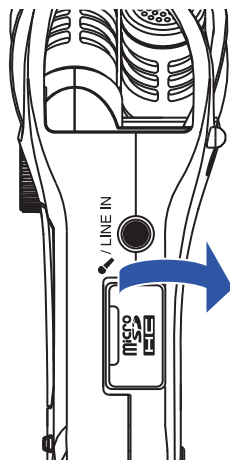


2. AC アダプターをコンセントに接続する

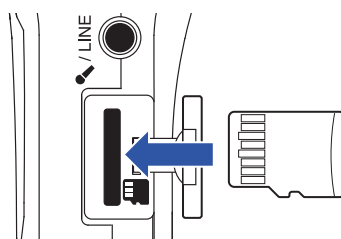


microSD カードをセットする

1. 電源を OFF にしてから、microSD カードスロットのカバーを開ける



2. microSD カードスロットに microSD カードを差し込む



microSD カードを取り出すときは、microSD カードを一度奥に押し込んでから引き抜きます。

3. microSD カードスロットのカバーを閉じる

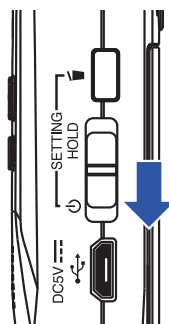
NOTE

- microSD カードの抜き差しは、必ず電源を OFF にした状態で行ってください。電源が ON の状態で行うと、データが破損する恐れがあります。
- microSD カードを抜き差しするときは、microSD カードの向きや裏表に注意してください。
- microSD カードが **H1n** にセットされていないと、録音や再生はできません。
- microSD カードを初期化するには (→ [「microSD カードを初期化する」](#))

電源を ON/OFF する

電源を ON にする

1.  を  側にスライドする



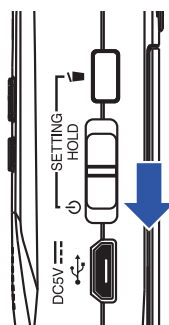
電源が ON になり、ディスプレイに録音画面が表示されます。

NOTE

- ご購入後、はじめて電源を ON にした場合は、表示言語 (→ [「表示言語を設定する」](#)) および日時 (→ [「日時を設定する」](#)) を設定する必要があります。
- 「SD カードがありません」と表示されたら、microSD カードが正しくセットされているか確認してください。
- 「不正な SD カードです」と表示されたら、フォーマットが不正です。microSD カードを初期化するか (→ [「microSD カードを初期化する」](#))、別の microSD カードをセットしてください (→ [「microSD カードをセットする」](#))。

電源を OFF にする

1.  を  側にスライドする




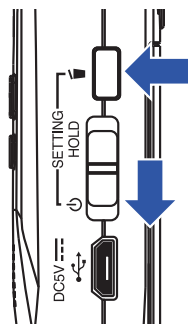
NOTE

「電源オフ」が表示されるまでスライドし続けてください。




表示言語を設定する

ディスプレイの表示言語を設定します。

1.  を押しながら、電源を ON にする



システム設定画面が表示されます。

2.   を押して「言語設定」を選択し、 を押す



3.   を押して表示言語を選択し、 を押す




表示言語が設定されます。

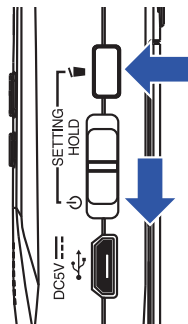
HINT

ご購入後、はじめて電源を ON にした場合は、この画面が自動的に表示されます。




日時を設定する

音声ファイルに録音日時を記録できるように、日時を設定します。




1.  を押しながら、電源を ON にする



システム設定画面が表示されます。

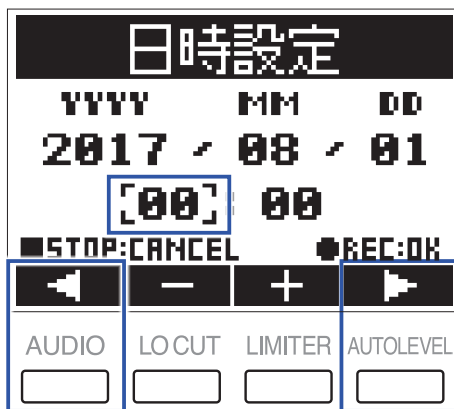
2.   を押して「日付/時刻」を選択し、 を押す



3.   を押して「日時設定」を選択し、 を押す



4. ◀ ▶ を押して、カーソルを移動させる



HINT

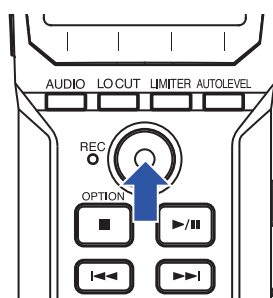
ご購入後、はじめて電源を ON にした場合は、表示言語の設定後にこの画面が自動的に表示されます。

5. - + を押して、カーソル位置の値を変更する



6. ● を押す

日時が設定されます。

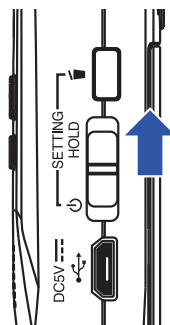


誤操作を防止する

ホールド機能を有効にすると、**H1n**のキー操作が無効になり、録音中の誤操作を防止できます。

ホールド機能を有効にする

1.  を [HOLD] 側にスライドする



ホールド機能を解除する

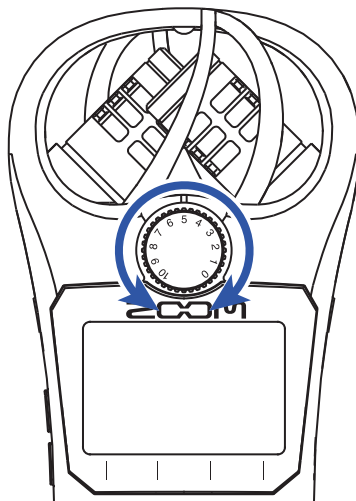
1.  を中央の位置に戻す

録音

入力レベルを調節する

手動で調節する

1. インプットボリュームノブを回す



HINT

- ピーク時のレベルが -12 dB 付近で維持されるように調節します。
- 入力レベルを下げて音も歪む場合は、マイクの位置を調節したり、接続機器の出力レベルを調節します。
- 風雑音などのノイズをカットしながら録音するには (→ [「ノイズを軽減する」](#))
- 入力信号がクリップしないようにするには (→ [「リミッターを設定する」](#))

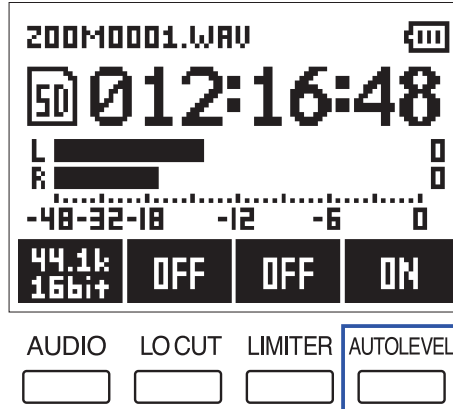
NOTE

REC LED が高速点滅しているときは音がひずむ場合がありますので、入力レベルを下げてください。

自動レベル調整を使用する

入力信号に合わせて入力レベルを自動的に調節します。

1. ^{AUTOLEVEL} を押して、「ON」を選択する



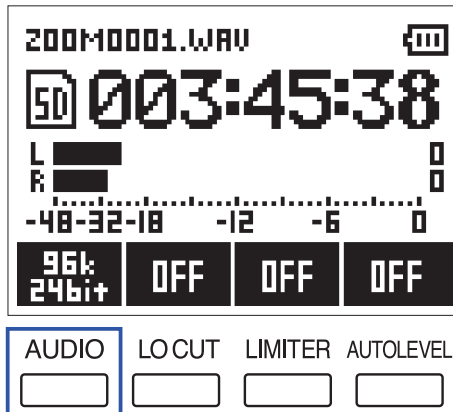
NOTE

自動レベル調整を ON にすると、インプットボリュームノブの操作は無効になります。

録音フォーマットを選択する

音質やファイルサイズを考慮して、録音フォーマットを選択します。

1. AUDIO を押して、録音フォーマットを選択する



ディスプレイには、選択した録音フォーマットで録音できる残り時間が表示されます。

設定できる録音フォーマットは以下のとおりです。

設定項目	録音フォーマット	音質	ファイルサイズ
96k 24bit	WAV 96 kHz/24-bit	高 ↑	大 ↑
48k 24bit	WAV 48 kHz/24-bit		
48k 16bit	WAV 48 kHz/16-bit		
44.1k 16bit	WAV 44.1 kHz/16-bit		
MP3 320k	MP3 320 kbps	↓ 低	↓ 小
MP3 256k	MP3 256 kbps		
MP3 192k	MP3 192 kbps		
MP3 128k	MP3 128 kbps		
MP3 48k	MP3 48 kbps		

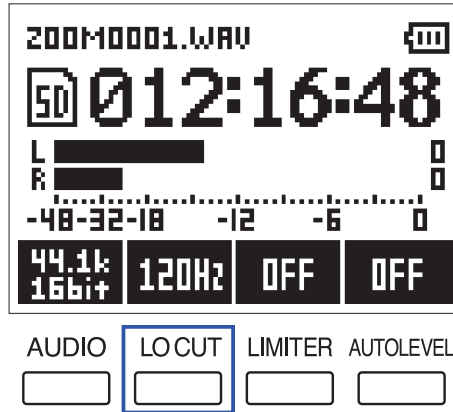
NOTE

- 音質重視の録音には WAV フォーマットが適しています。
- MP3 フォーマットは圧縮の際、音質が低下しますが、ファイルサイズも小さくなるため、microSD カードの容量を節約して大量に保存したいときなどに便利です。

ノイズを軽減する

風雑音やボーカルのポップノイズなどの低域ノイズをカットできます。

1. ^{LOCUT} を押して、カットする周波数を選択する



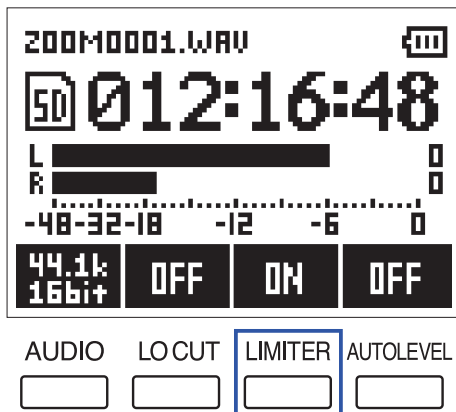
HINT

選択できる周波数は、OFF / 80 Hz / 120 Hz / 160 Hz です。

リミッターを設定する

レベルが高すぎる入力信号を抑えて、信号が歪むのを防ぎます。

1. ^{LIMITER} を押して、「ON」を選択する

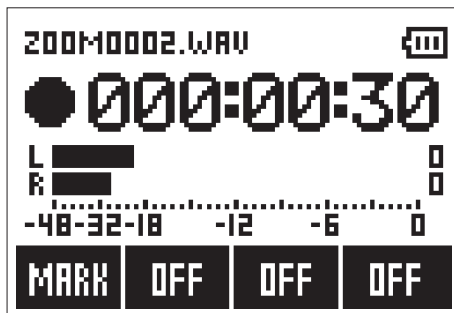
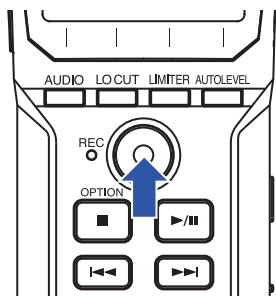


NOTE



入力感度が高い（インプットボリュームノブの値が大きいとき）場合、小信号時にノイズが目立つことがあります。

録音する



1. ●を押す



録音中は以下の操作もできます。

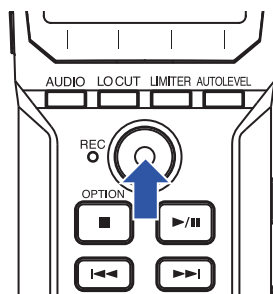
一時停止／再開	 を押す
マークの追加	 を押す

NOTE


- マークとは、頭出し用の目印です。再生時に  /  を押すと、マークの位置にジャンプします。
- 録音を一時停止すると、停止位置に自動的にマークが追加されます。
- マークは1回の録音で最大99個まで付けることができます。
- 録音中にファイルサイズが2GBを超えると、自動的に新しいファイルが作成され、録音が続きます。

2. ●を押す

録音が終了します。



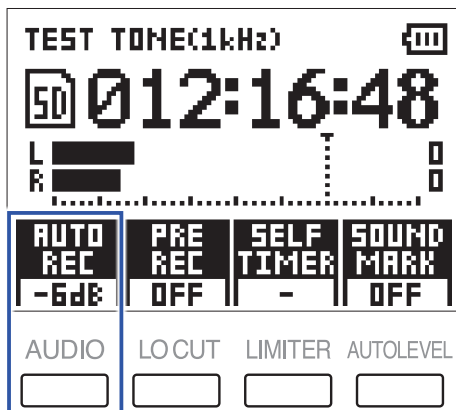
録音の補助機能を使用する

録音画面で  を押すことで、録音の補助機能を使用できます。

自動で録音する（オート録音）

入力レベルが設定したレベルを超えると、自動的に録音を開始します。

1.  を押しながら  を押して、録音開始レベルを設定する



HINT


設定できる入力レベルは、Off / -48 dB / -24 dB / -12 dB / -6 dB です。

2.  を押す



オート録音の待機状態になります。

HINT

再度  を押すと、すぐに録音を開始できます。

3. 待機状態から抜きたいときや録音を中止したいときは、 を押す

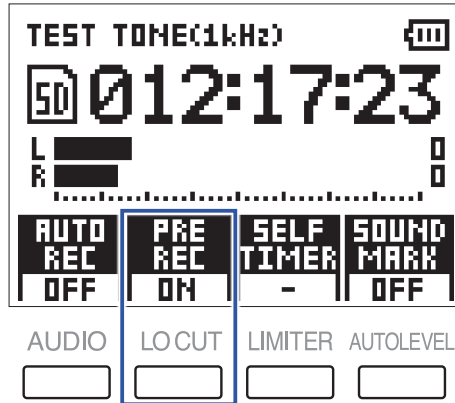
NOTE

セルフタイマーとの併用はできません。オート録音を設定すると、セルフタイマーは無効になります。

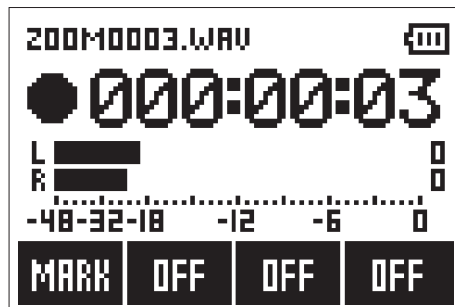
時間をさかのぼって録音する（プリ録音）

入力信号を常に一定時間蓄えておくことにより、●を押す約2秒前から録音できます。突然演奏が始まったときなどに便利です。

1.  を押しながら  を押して、「ON」を選択する



2. ●を押す



2秒前の入力信号を含めて録音を開始します。

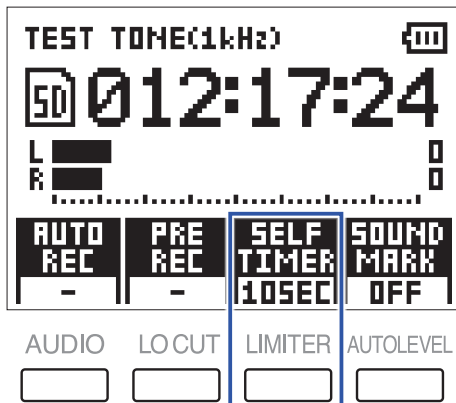
NOTE

セルフタイマーとの併用はできません。プリ録音を設定すると、セルフタイマーは無効になります。

セルフタイマーで録音する

設定した時間が経過すると、自動的に録音を開始します。

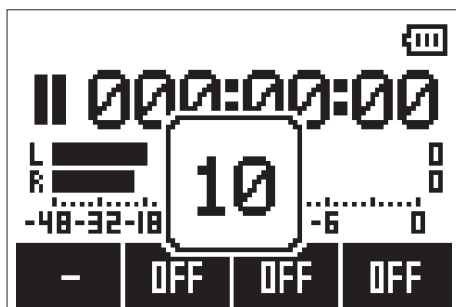
1.  を押しながら  を押して、時間を設定する



HINT


設定できる時間は、OFF / 3 秒 / 5 秒 / 10 秒です。

2.  を押す



セルフタイマーのカウントダウンが始まり、REC LED が点滅します。

HINT

カウントダウン中に再度  を押すと、すぐに録音を開始できます。

3. 待機状態から抜きたいときや録音を中止したいときは、 を押す

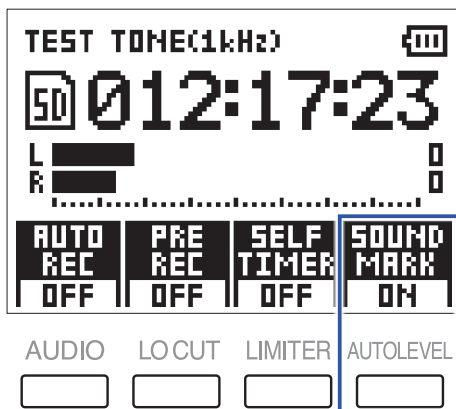
NOTE

- オート録音との併用はできません。セルフタイマーを設定すると、オート録音は無効になります。
- プリ録音との併用はできません。セルフタイマーを設定すると、プリ録音は無効になります。

サウンドマーカを設定する

録音開始時と終了時に、出力端子からトーン信号（サウンドマーカ）を鳴らすことができます。動画の音声をH1nで録音する場合、カメラ側にH1nの出力信号を入力しておくことで、動画との位置合わせが簡単になります。

1.  を押しながら  を押して、「ON」を選択する



外部機器とのレベル調節をする（テストトーンを再生する）

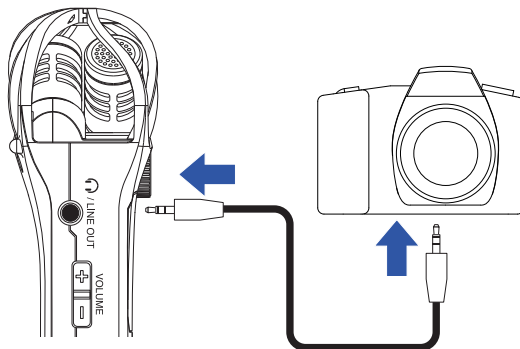
デジタル一眼レフカメラなどの外部機器と接続する際に、**H1n**と外部機器の出力レベルを合わせるためのテストトーンを再生できます。

1. 外部機器の入力ゲインを最小にする

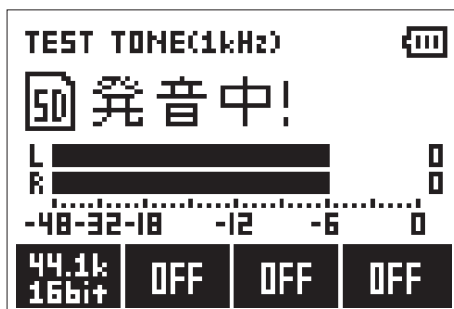
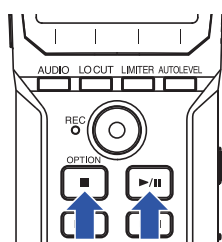
NOTE

外部機器のオートゲインコントロール機能がオンになっている場合はオフにしてください。

2. 外部機器の外部マイク端子と、**H1n**の [PHONE/LINE OUT] 端子をオーディオケーブルで接続する



3. を押しながら を押す



[PHONE/LINE OUT] 端子からテストトーンが再生されます。

NOTE

ヘッドフォンなどで音声をモニターしている場合は音量にご注意ください。

HINT

テストトーンは、1 kHz -6 dBFS のサイン波です。

4. 外部機器の入力ゲインを微調節する

外部機器のオーディオメーター（レベルメーター）を確認しながら、音声信号のレベルが -6 dB 程度になるように外部機器の入力ゲインを微調節します。

5. を押す

テストトーンの再生が終了します。

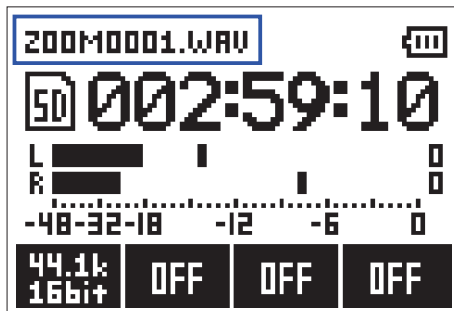
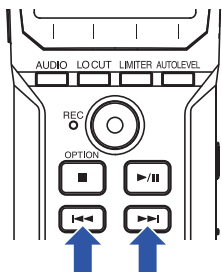
NOTE

外部機器の操作方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

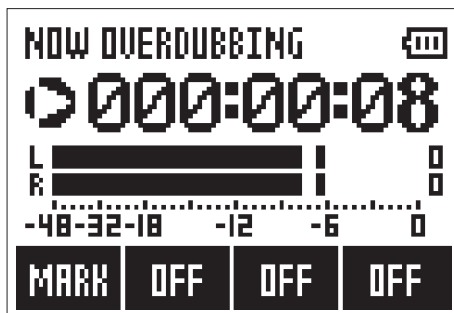
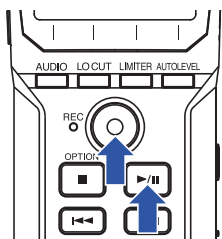
オーバーダビングする

ファイルの再生音に重ねて録音し、新しいファイルとして保存します。パートごとに分けて演奏を録音するときなどに便利です。

1.  /  を押して、ファイルを選択する



2.  を押しながら  を押す



オーバーダビングを開始します。

3.  を押す

オーバーダビングが終了します。

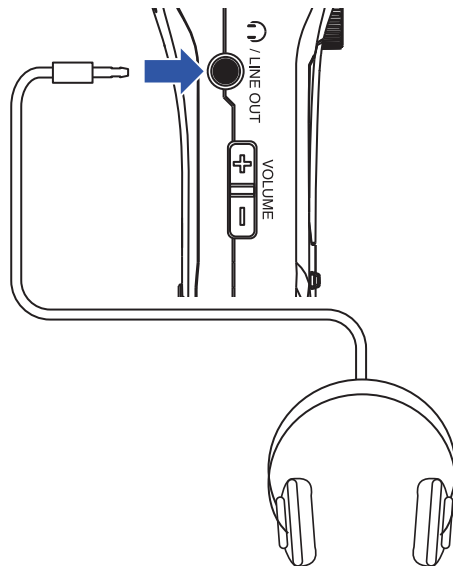
NOTE

- ・オート録音、プリ録音、セルフタイマー、サウンドマーカの設定は無効になります。
- ・録音フォーマットがMP3のファイルには、オーバーダビングできません。
- ・元のファイルと同じ録音フォーマットで録音されます。

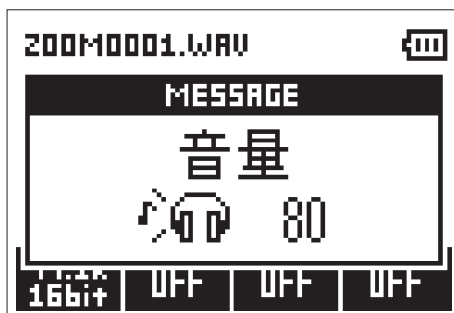
録音状況をモニターする

ヘッドフォンを使用して、録音中の音声をモニターします。

1. ヘッドフォンを H1n の [PHONE/LINE OUT] 端子に接続する



2. **+** / **-** を押して、モニタリング音量を調整する



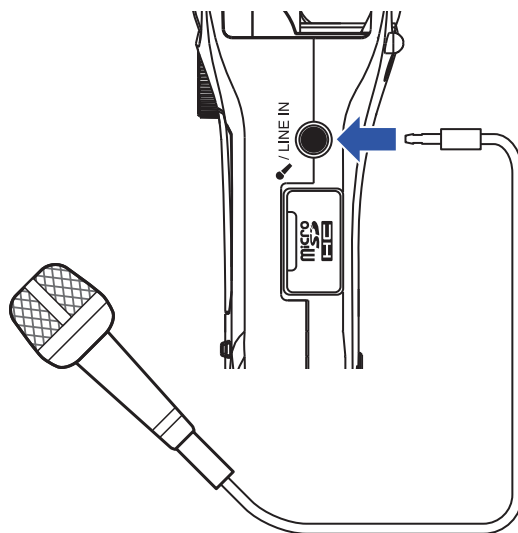
HINT

モニタリング音量は、0～100の範囲で調整できます。

外部マイクを使用する

外部マイクを使用して音声を録音します。

1. 外部マイクを H1n の [MIC/LINE IN] 端子に接続する



2. ●を押す

録音が始まります。

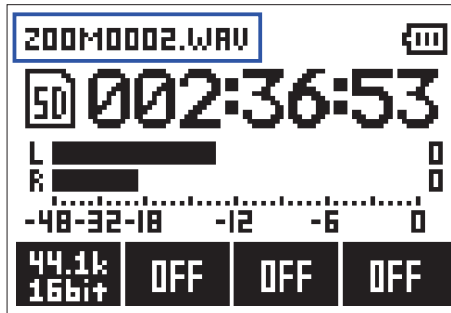
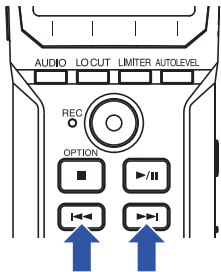
NOTE

- 外部マイクの接続中は、内蔵 XY マイクが無効になります。
- プラグインパワーに対応しているマイクの場合は、H1n から電源を供給できます。

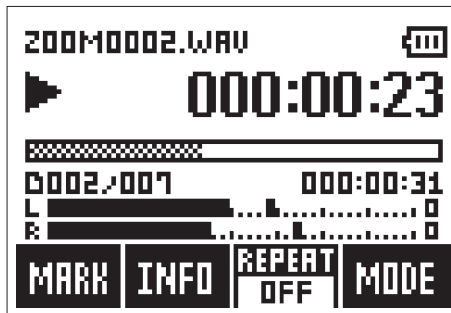
再生

再生する

1.  /  を押して、再生するファイルを選択する





2.  を押す



再生中は以下の操作もできます。

一時停止／再開	 を押す
早送り	 を長押しする
巻き戻し	 を長押しする
マークの追加	再生中に MARK を押す
次のマークへジャンプする (マークがある場合) 次のファイルを再生する (マークがない場合)	 を押す
前のマークへジャンプする (マークがある場合) 前のファイルを再生する (マークがない場合)	 を押す

HINT

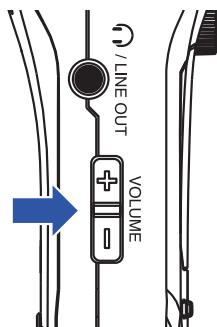
- ・マークとは、頭出し用の目印です。
- ・最後のマーク以降を再生中に  を押すと、次のファイルが再生されます。先頭のマーク以前を再生中に  を押すと、前のファイルが再生されます。

3.  を押す

再生が終了し、録音画面に戻ります。

音量を調節する

1. **+** / **-** を押す



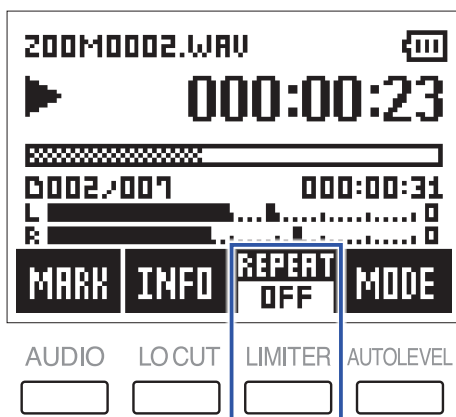
HINT

- スピーカーとヘッドフォンの音量を別々に調節することができます。
 - 音量は、0～100の範囲で調節できます。
-

リピート再生する

再生中のファイルを繰り返し再生したり、microSD カードに保存されているすべてのファイルを繰り返し再生したりできます。

1. **REPEAT** を押して、リピート方法を設定する





設定できるリピート方法は、以下のとおりです。

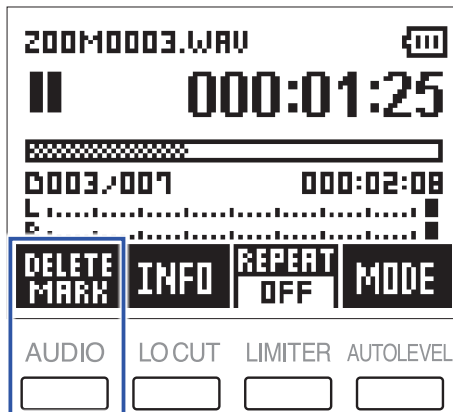
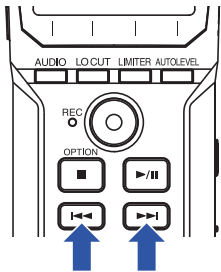
設定値	説明
OFF	選択したファイルから最後のファイルまでを再生します。
ONE	選択したファイルのみを繰り返し再生します。
ALL	すべてのファイルを繰り返し再生します。

マークを削除する

ファイルに付いている不要なマークを削除します。

1. 再生を一時停止する

2.  /  を押して、削除するマーク位置までジャンプする



一番左の機能ボタンが「MARK」から「DELETE MARK」に変わります。

3.  を押す

4.   を押して「削除」を選択し、 を押す

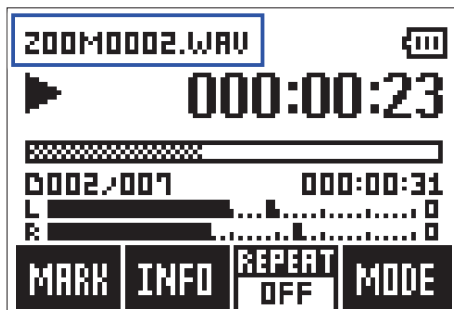
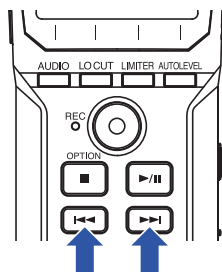


マークが削除されます。

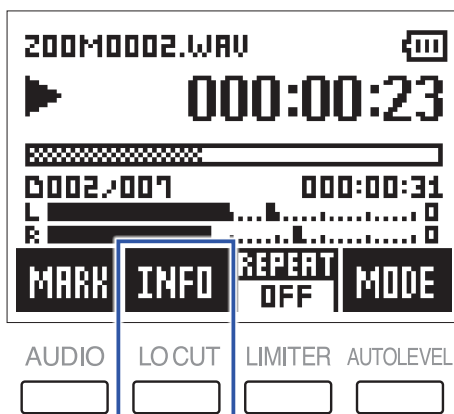
ファイルの情報を確認する

選択したファイルの各種情報を確認できます。

1.  /  を押して、ファイルを選択する





2. **INFO** を押す



3. ファイル情報を確認する



  を押すと、ページが切り替わります。

HINT

確認できる情報は、日付/時刻、録音フォーマット、ファイルサイズ、録音時間です。

4.  を押す





再生画面に戻ります。

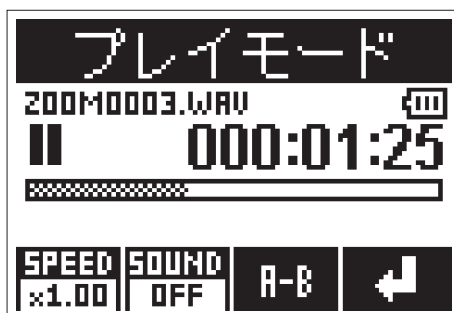
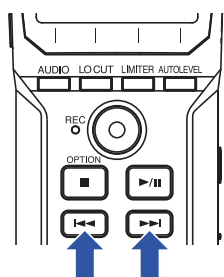
再生の補助機能を使用する

MODE を押してプレイモードに切り替えると、フレーズの聞き取りや文字起こしに適した機能を使用できます。

再生位置を微調整する


数秒単位で再生位置を微調整できます。

1. 再生画面で **MODE** を押す
プレイモードに切り替わります。
2.  /  を押して、再生位置を微調整する
3 秒戻す：  を押す
10 秒進める：  を押す



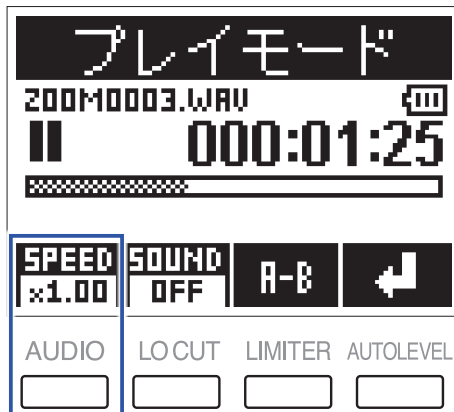
NOTE

移動先までの間にマークがある場合は、マークの位置で止まります。

3. プレイモードから抜けるには、 を押す

再生速度を変更する

1. 再生画面で **MODE** を押す
プレイモードに切り替わります。
2. **SPEED** を押して、再生速度を変更する



HINT

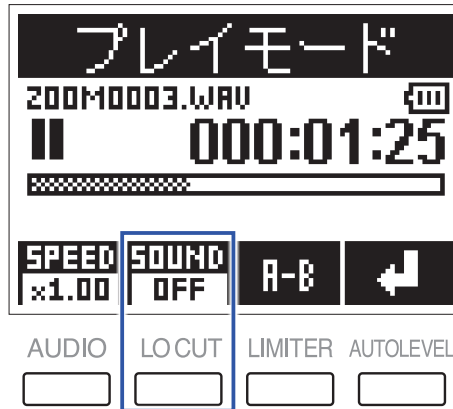
設定できる再生速度は、× 0.50 / × 0.75 / × 1.00 / × 1.50 / × 2.00 です。

3. プレイモードから抜けるには、**↶** を押す

サウンドエフェクトを使用する

再生音にエフェクトをかけ、音色を変化させて再生できます。

1. 再生画面で **MODE** を押す
プレイモードに切り替わります。
2. **SOUND** を押して、使用するサウンドエフェクトを選択する



設定できるサウンドエフェクトは、以下のとおりです。



設定値	説明
OFF	音色は変化しません。
SPEECH	スピーチや会議を録音した音声を聞きやすくします。
Vo CUT	ボーカルをカットします。
BASS	低域以外の帯域をカットします。
ROCK	低域と高域を強調します。

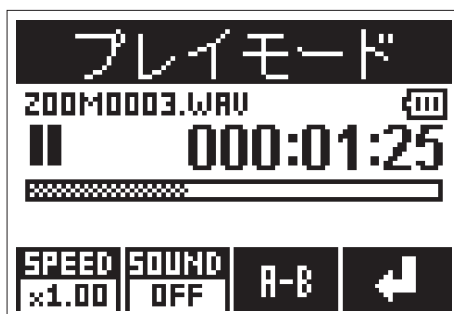
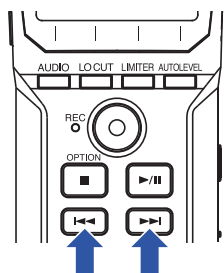
3. プレイモードから抜けるには、**↩** を押す

指定した範囲を繰り返し再生する (A-B リピート)

指定した 2 点間を繰り返し再生できます。

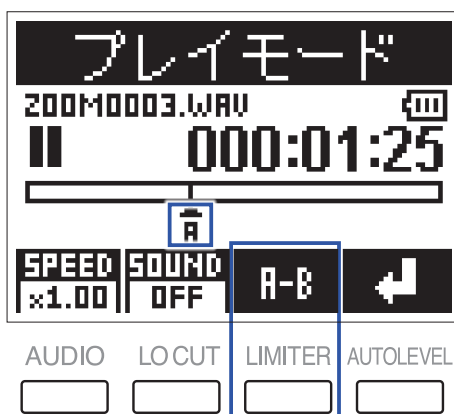
1. 再生画面で **MODE** を押す
プレイモードに切り替わります。

2.  /  でリピート再生を開始したい位置に移動する



 を押して、再生しながら移動することもできます。

3. **A-B** を押して、始点を設定する



設定した位置に「A」と表示されます。

4. リピート再生を終了したい位置で **A-B** を押して、終点も設定する



設定した位置に「B」と表示され、AB ポイント間が繰り返し再生されます。

5. リピート再生を終了するには、**A-B** を押す



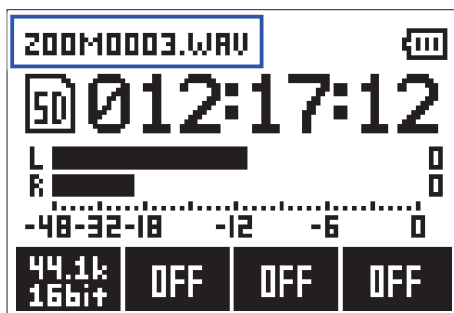
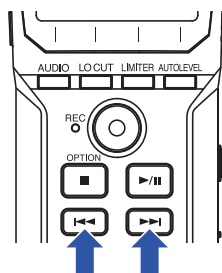
6. プレイモードから抜けるには、**↶** を押す

ファイルの操作

ファイルを削除する

不要なファイルを削除できます。

1.  /  を押して、ファイルを選択する



HINT

録画面、再生画面のどちらからでも削除できます。

2.  を押す
3.   を押して「削除」を選択し、 を押す



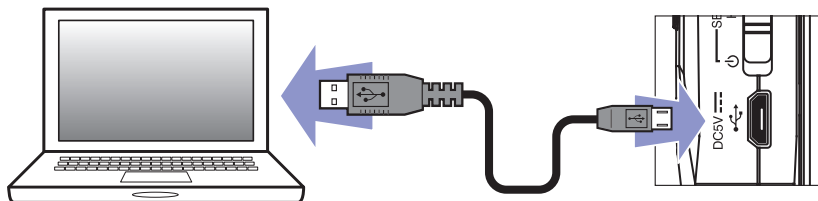
ファイルが削除されます。

USB を使う

外部機器と接続する

H1nをパソコンやiOS デバイスなどの外部機器に接続すると、H1nをカードリーダーまたはオーディオインターフェースとして利用できます。

1. 録音画面でH1nと外部機器をUSB ケーブルで接続する



USB 画面が表示されます。

NOTE

iOS デバイス を接続する場合は、Lightning to USB Camera Adapter が必要です。

カードリーダーとして使用する

パソコンで microSD カードに保存されているファイルを確認したり、パソコンにコピーしたりできます。

1. USB 画面で ▲ ▼ を押して「カードリーダー」を選択し、▶ を押す



2. パソコンで microSD カードに保存されているファイルを操作する



3. 取り外したいときは、パソコンで H1n の USB 接続を解除する
Windows の場合：“ハードウェアの安全な取り外し”で H1n を選択する
Mac OS の場合：H1n のアイコンをゴミ箱にドラッグ & ドロップする

NOTE

USB ケーブルを抜く前に、必ず解除操作を行ってください。

4. EXIT を押す
5. ▲ ▼ を押して「終了」を選択し、✔ を押す



カードリーダーの動作が終了し、録音画面が表示されます。

6. H1n と外部機器から USB ケーブルを抜く

オーディオインターフェースとして使用する

H1nの入力信号をパソコンや iOS デバイスなどに直接入力したり、パソコンや iOS デバイスなどの再生信号を H1n から出力することができます。

1. USB 画面で ▲ ▼ を押して「オーディオ I/F」を選択し、▶ を押す



2. ▲ ▼ を押して使用する機器の種類を選択し、▶ を押す



NOTE

「iOS」を選択した場合は、画面に表示されるメッセージに従って一度ケーブルを抜きます。その後再度「iOS」を選択し、ケーブルを接続してください。

3. ▲ ▼ を押して、電源を選択し、▶ を押す



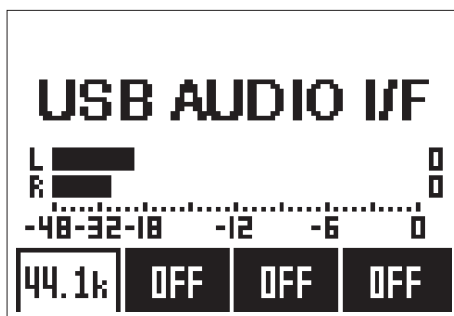
選択できる電源は、以下のとおりです。

設定値	説明
バスパワー	USB ケーブルを通じて接続先から電源を供給します。
電池	H1nの電池から電源を供給します。USB バスパワー供給能力の低いパソコンに接続する場合に選択します。

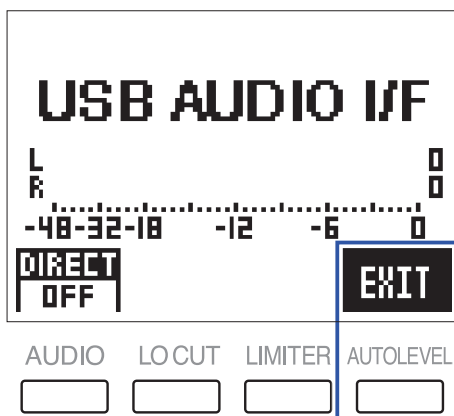
NOTE

「iOS」を選択した場合はH1nの電池から電源を供給します。この画面は表示されません。

4. 外部機器の再生信号をモニターする



5. 取り外したいときは、を押しながら **EXIT** を押す



6. を押して「終了」を選択し、 を押す



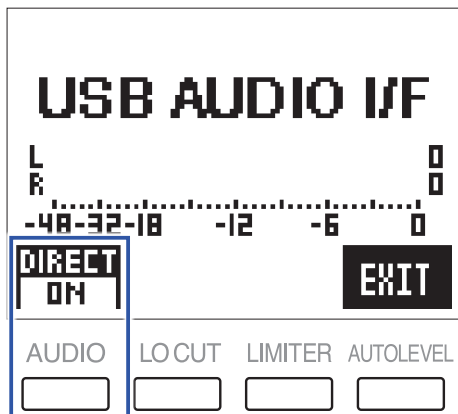
オーディオインターフェースの動作が終了し、録音画面が表示されます。

7. H1n と外部機器から USB ケーブルを抜く

ダイレクトモニターを設定する

H1nの入力信号をパソコンや iOS デバイスを経由せずに、H1nから直接出力します。これにより遅延のないモニタリングが可能です。


1. オーディオインターフェースとしての動作中に、 を押しながら **DIRECT** を押して、「ON」を選択する

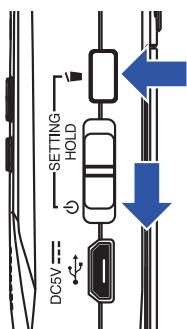


各種設定

システム設定画面を表示する

各種設定はシステム設定画面で行います。

1.  を押しながら、電源を ON にする



システム設定画面が表示されます。

日付の形式を設定する

ファイル名に付く日付や再生画面に表示される日付形式を変更します。

1. システム設定画面で   を押して「日付/時刻」を選択し、  を押す



2.   を押して「日付形式」を選択し、  を押す



3.   を押して日付形式を選択し、  を押す



設定できる日付形式は、以下のとおりです。

設定値	説明
YYMMDD	年、月、日の順で表示します。
MMDDYY	月、日、年の順で表示します。
DDMMYY	日、月、年の順で表示します。

ディスプレイのバックライトを設定する

省電力のため、一定時間何も操作をしないとディスプレイのバックライトが消灯するように設定します。

1. システム設定画面で ▲ ▼ を押して「LCD」を選択し、▶ を押す



2. ▲ ▼ を押して「バックライト」を選択し、▶ を押す



3. ▲ ▼ を押してバックライトが消灯するまでの時間を選択し、✔ を押す



設定できるバックライトの消灯時間は、以下のとおりです。

設定値	説明
オフ	バックライトは常に消灯します。
オン	バックライトは常に点灯します。
30 秒	30 秒間何も操作しない状態が続くと、バックライトが消灯します。
1 分	1 分間何も操作しない状態が続くと、バックライトが消灯します。
2 分	2 分間何も操作しない状態が続くと、バックライトが消灯します。
3 分	3 分間何も操作しない状態が続くと、バックライトが消灯します。
4 分	4 分間何も操作しない状態が続くと、バックライトが消灯します。
5 分	5 分間何も操作しない状態が続くと、バックライトが消灯します。

ディスプレイのコントラストを調節する

1. システム設定画面で **▲ ▼** を押して「LCD」を選択し、**▶** を押す



2. **▲ ▼** を押して「コントラスト」を選択し、**▶** を押す



3. **- +** を押してコントラストを調節し、**✓** を押す



HINT

1～10の範囲で調節できます。

使用する電池の種類を設定する

ディスプレイに電池残量を正確に表示するために、電池の種類を設定します。

1. システム設定画面で   を押して「電池設定」を選択し、 を押す



2.   を押して電池の種類を選択し、 を押す



HINT

アルカリ／ニッケル水素／リチウムから選択します。

電源の自動 OFF 機能を設定する

電池による動作時、操作をしない状態で一定時間経過すると、自動的に電源が切れるように設定します。

1. システム設定画面で   を押して「オートパワーオフ」を選択し、 を押す



2.   を押して電源が切れるまでの時間を選択し、 を押す



設定値	説明
オフ	自動 OFF 機能は無効です。
5 分	最後のキー操作から 5 分後に電源が切れます。
10 分	最後のキー操作から 10 分後に電源が切れます。
30 分	最後のキー操作から 30 分後に電源が切れます。
60 分	最後のキー操作から 60 分後に電源が切れます。

カウンターの表示方法を設定する

録音時の録音時間（カウンター）に現在の録音経過時間を表示するか（カウントアップ）、残りの録音可能時間を表示するか（カウントダウン）を設定します。

1. システム設定画面で   を押して「録音設定」を選択し、  を押す



2.   を押して「カウンター」を選択し、  を押す



3.   を押して表示方法を選択し、  を押す



ファイル名の付け方を設定する

録音時に自動的に設定されるファイル名の付け方を変更します。

1. システム設定画面で   を押して「録音設定」を選択し、  を押す



2.   を押して「ファイル名」を選択し、  を押す



3.   を押してファイル名の付け方を選択し、  を押す



設定できるファイル名の付け方は、以下のとおりです。

設定値	説明
ZOOM****	「ZOOM0001.WAV/MP3」～「ZOOM9999.WAV/.MP3」という連番形式でファイル名が付けられます。
YYMMDD-HHMMSS	「YYMMDD-HHMMSS.WAV/MP3」という日時形式でファイル名が付けられます。


NOTE

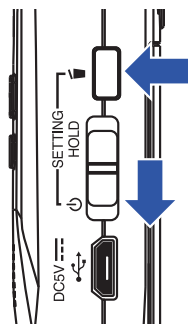
- ・「YYMMDD-HHMMSS」に設定した場合、録音開始時の日時がファイル名になります。
- ・「YYMMDD-HHMMSS」に設定した場合、ファイル名に付けられる日時のフォーマットは、「日付形式」の設定に従います (→ [「日付の形式を設定する」](#))。

その他の機能




microSD カードを初期化する

市販の microSD カードやパソコンで初期化された microSD カードを H1n 用に初期化します。




1.  を押しながら、電源を ON にする



システム設定画面が表示されます。

2.   を押して「SD カード」を選択し、 を押す



3.   を押して「フォーマット」を選択し、 を押す



4. ▲ ▼ を押して「実行」を選択し、✔ を押す



microSD カードが **H1n** 用に初期化されます。

NOTE


- 市販の microSD カードや、他のパソコンで初期化された microSD カードを使用する場合は、最初に **H1n** で初期化する必要があります。
- microSD カードを初期化すると、microSD カードに保存されているデータはすべて消去されますのでご注意ください。

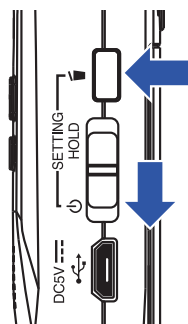
microSD カードの性能をテストする

microSD カードが H1n で使用可能かテストします。

短時間で行うクイックテストと、microSD カードの全領域を検査するフルテストがあります。

クイックテストを行う


1.  を押しながら、電源を ON にする



システム設定画面が表示されます。

2.   を押して「SD カード」を選択し、 を押す



3.   を押して「テスト」を選択し、 を押す



4. ▲ ▼ を押して「クイックテスト」を選択し、▶ を押す



5. ▲ ▼ を押して「実行」を選択し、✓ を押す



microSD カードのクイックテストが開始されます。

6. テストが終了したら、判定結果を確認する



判定結果が表示されます。


NOTE

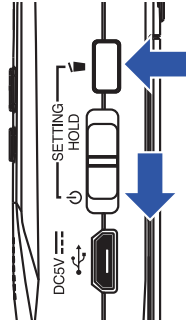
性能テストの判定が OK の場合でも、書き込み不良が起きないことを保障するものではありません。あくまで目安として参考にしてください。

フルテストを行う




NOTE

フルテストを行う場合は、ACアダプターを接続してください (→「ACアダプターを使用する」)。




1.  を押しながら、電源を ON にする



システム設定画面が表示されます。

2.   を押して「SDカード」を選択し、 を押す



3.   を押して「テスト」を選択し、 を押す



4. ▲ ▼ を押して「フルテスト」を選択し、▶ を押す



フルテストの所用時間が表示されます。

5. ▲ ▼ を押して「実行」を選択し、✓ を押す

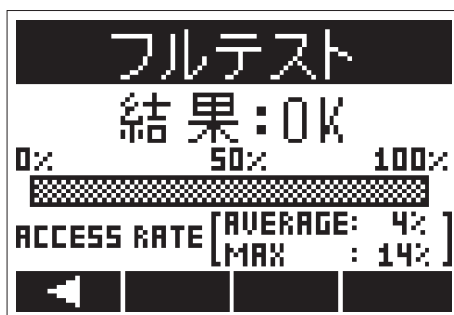


microSD カードのフルテストが開始されます。

HINT

▶/|| を押すとテストを一時中断・再開することができます。

6. テストが終了したら、判定結果を確認する




判定結果が表示されます。

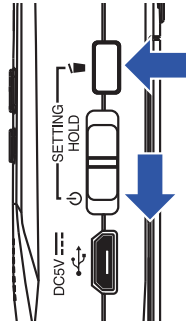
NOTE

性能テストの判定が OK の場合でも、書き込み不良が起きないことを保障するものではありません。あくまで目安として参考にしてください。

バージョンを確認する

ファームウェアのバージョンを確認できます。

1. を押しながら、電源を ON にする



システム設定画面が表示されます。

2.  を押して「バージョン情報」を選択し、を押す




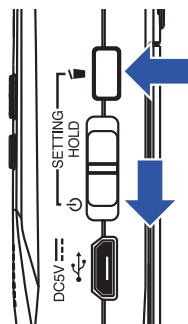
3. ファームウェアのバージョンを確認する



設定を初期値に戻す

H1nの設定を工場出荷時の状態に戻します。

1. を押しながら、電源を ON にする



システム設定画面が表示されます。

2.  を押して「初期化」を選択し、を押す



3.  を押して「実行」を選択し、を押す



H1nの初期化が開始されます。

初期化が終了すると、自動的に電源が OFF になります。

NOTE

入力レベルの設定は初期化されません。


ファームウェアをアップデートする

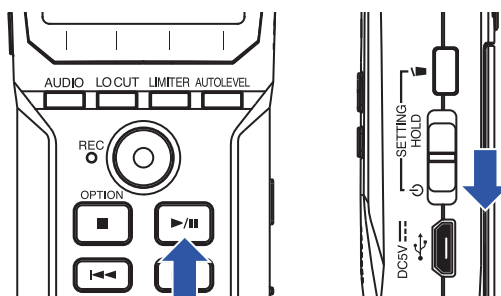
H1nのファームウェアを最新のものにアップデートできます。

1. H1nに新しい電池をセットするか (→ [「電池を使用する」](#))、ACアダプターを接続する (→ [「ACアダプターを使用する」](#))
2. ファームウェアアップデート用ファイルを、microSDカードのルートディレクトリにコピーする

NOTE

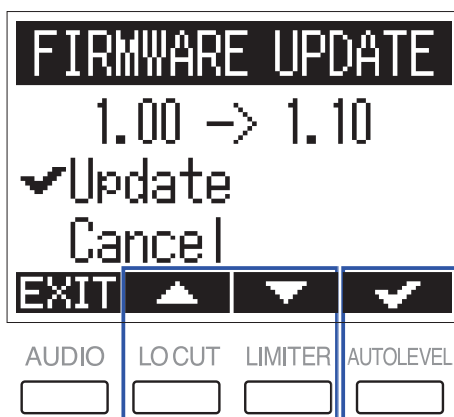
最新のファームウェアアップデート用ファイルは、ZOOMのWebサイト (www.zoom.co.jp) からダウンロードできます。

3. microSDカードをH1nにセットする (→ [「microSDカードをセットする」](#))
4.  を押しながら、電源をONにする



アップデート実行の確認画面が表示されます。

5.   を押して「Update」を選択し、 を押す

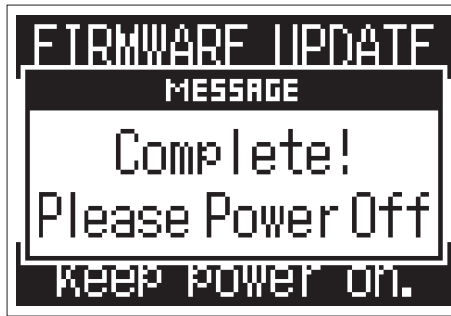


ファームウェアのアップデートが開始されます。

NOTE

ファームウェアアップデート中に電源をOFFにしたり、microSDカードを取り出したりしないでください。H1nが起動しなくなるおそれがあります。

6. ファームウェアアップデートが完了したら、電源を OFF にする



NOTE

電池残量が少ない場合は、ファームウェアのアップデートを実行できません。新しい電池と交換するか (→「[電池を使用する](#)」)、ACアダプターを接続してください (→「[ACアダプターを使用する](#)」)。

言語を追加する

新しい言語を追加して、H1nの表示言語を変更できます。

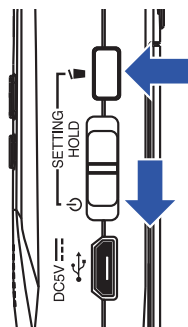
1. 追加したい言語ファイルを、microSD カードのルートディレクトリにコピーする

NOTE




言語ファイルは、ZOOMのWebサイト（www.zoom.co.jp）からダウンロードできます。

2. microSD カードをH1nにセットする（→「[microSD カードをセットする](#)」）

3. を押しながら、電源をONにする



システム設定画面が表示されます。

4.   を押して「言語設定」を選択し、 を押す



5.   を押して「言語追加」を選択し、 を押す



6. ▲ ▼ を押して追加したい言語を選択し、 ✓ を押す



選択した言語が追加されます。

HINT

追加した言語は、**H1n**を初期化すると削除されます(→「[設定を初期値に戻す](#)」)。

故障かな？と思われる前に

H1nの動作がおかしいと感じた場合は、以下の項目を確認してください。

録音／再生のトラブル

■音が出ない／音が小さい

- H1nの音量を下げ過ぎていないか確認してください（→「[音量を調節する](#)」）。
- H1nに接続したパソコンやiOSデバイスなどの外部機器の音量を確認してください。

■録音した音が聞こえない／録音した音が小さい

- マイクを適切な方向に向けているか確認してください。
- 入力レベルの設定を確認してください（→「[入力レベルを調節する](#)」）。

■録音できない

- REC LED が点灯していることを確認してください（→「[各部の名称](#)」）。
- 録音画面に表示されている録音時間（カウンター）で残りの録音可能時間を確認してください（→「[録音画面](#)」）。
- microSD カードスロットに microSD カードが正しくセットされていることを確認してください（→「[microSD カードをセットする](#)」）。
- ホールド機能が有効の場合は、キー操作が無効になります。ホールド機能を解除してください（→「[誤操作を防止する](#)」）。

その他のトラブル

■ USB ケーブルでH1nをパソコンに接続しても認識されない

- 接続しているパソコンが対応 OS かどうか確認してください（→「[外部機器と接続する](#)」）。
- H1nをパソコンに認識させるには、H1n側で使用するUSB機能を選択する必要があります（→「[外部機器と接続する](#)」）。
- 充電専用のUSBケーブルでないことを確認してください。

仕様

記録メディア		microSD/microSDHC 規格対応カード (Class 4 以上、最大 32 GB)
記録フォーマット		WAV : 44.1 kHz/16-bit、48 kHz/16-bit、48 kHz/24-bit、96 kHz/24-bit MP3 : 48 kbps、128 kbps、192 kbps、256 kbps、320 kbps
表示		1.25" モノクロ LCD (96 × 64) REC LED (赤)
入力	内蔵マイク	90° XY ステレオ方式 最大入力音圧 : 120 dB SPL 入力ゲイン : -∞ dB ~ +39 dB
	MIC/LINE IN	入力端子 : ステレオミニジャック 入力ゲイン : -∞ dB ~ +39 dB 入力インピーダンス : 2 kΩ 以上 プラグインパワー対応 (2.5 V)
出力		ライン/ヘッドフォン兼用ステレオミニジャック
内蔵スピーカー		500 mW 8 Ω モノラルスピーカー
USB		microUSB <マスタストレージクラス動作> USB2.0 High Speed <オーディオインターフェース動作> USB クラス・コンプライアント 仕様 : サンプルレート 44.1 kHz/16-bit、48 kHz/16-bit 2in 2out 転送方式 : アシンクロナス転送
電源		単四電池 × 2 (アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池) AC アダプター (ZOOM AD-17) : DC 5 V/1 A
連続録音中の電池持続時間の目安		約 10 時間 (アルカリ乾電池、内蔵マイク使用、44.1 kHz/16-bit) ※上記の値はあくまで目安です。 ※電池持続時間は当社試験法によるものです。使用条件により大きく変わります。
外形寸法		50.0 mm (W) × 137.5 mm (D) × 32.0 mm (H)
質量 (本体のみ)		60 g

zoom[®]

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

<http://www.zoom.co.jp>

Z2I-3119-03